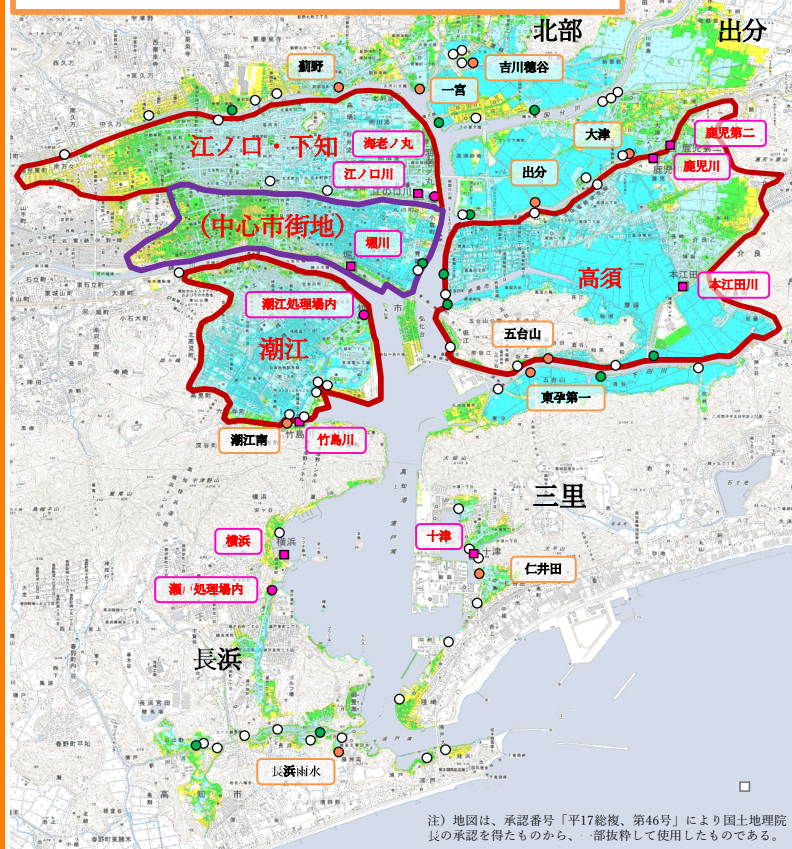


4. 長期浸水（止水・排水）対策 参考資料 ～河川・海岸堤防の耐震対策～

◆浸水予想図・整備優先エリア分割



注) 地図は、承認番号「平17総復、第46号」により国土地理院長の承認を得たものから、一部抜粋して使用したものである。

凡例（排水機場）

- 優先度A ■
- 優先度B ○
- 優先度C ●
- 上記以外 ○

優先度1 （重要区間①）

江ノ口川と鏡川に挟まれた中心市街地を保全

優先度2 （重要区間②）

江ノ口・下知、高須、潮江地区を保全

優先度3

浦戸湾隣接地区全体を保全

◆整備状況（県事業）

- ・河川堤防の耐震化（舟入川）
- ・排水機場の耐震化（鹿児第二排水機場）
- ・海岸堤防の耐震化（新田町）

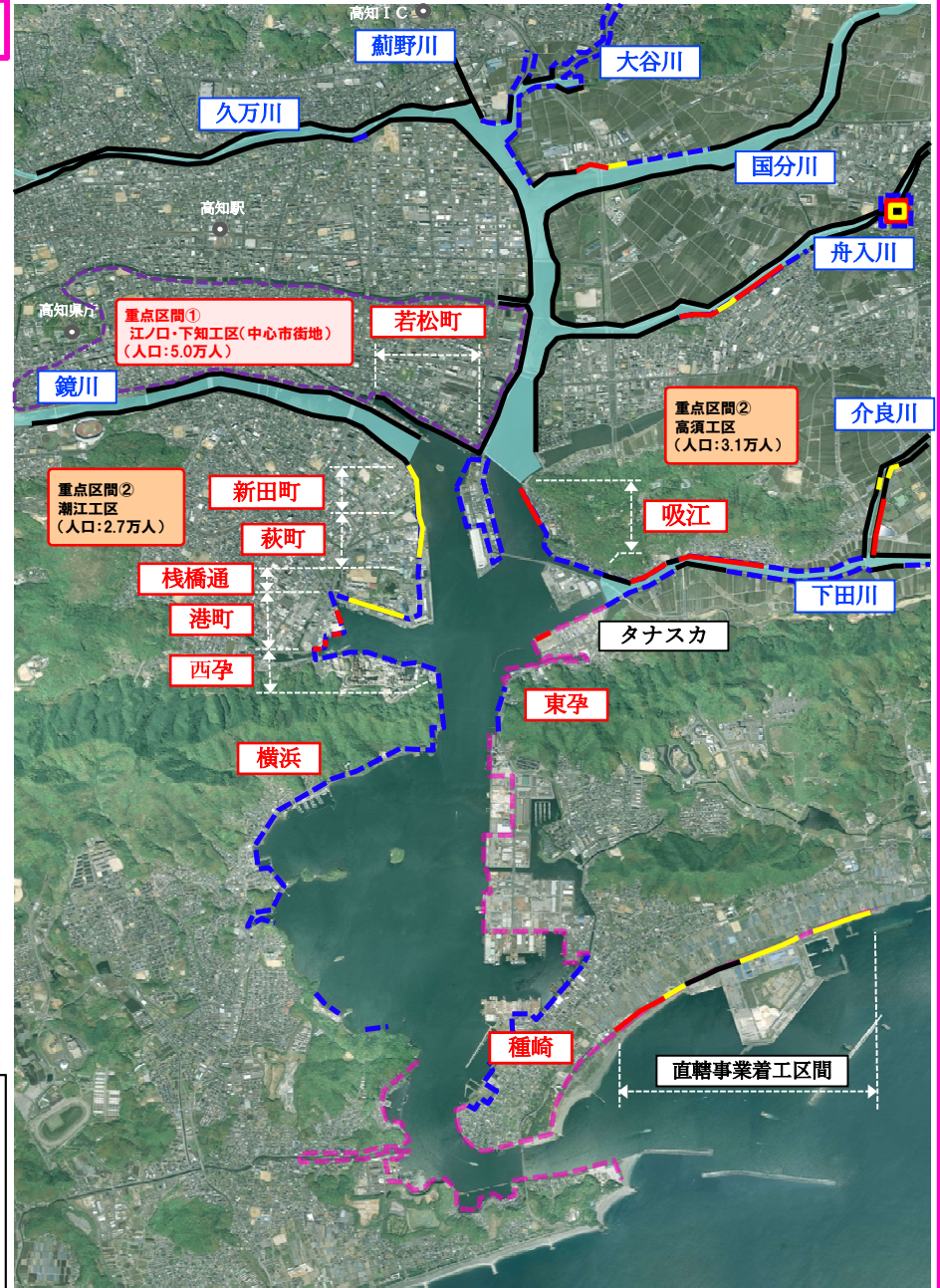


◆耐震対策の進捗状況

年度	施設	耐震補強計画 （県事業）
H30	河川	【河川堤防耐震化】 ・国分川、介良川、舟入川、で耐震工事を実施 【排水機場の耐震・耐水化】 ・鹿児第二排水機場で耐震化工事を実施
	海岸	【海岸堤防の耐震対策】 ・潮江工区で耐震工事を継続
R1	河川	【河川堤防耐震化】 ・国分川、介良川、舟入川で耐震工事を継続 下田川で耐震工事を実施 【排水機場の耐震・耐水化】 ・鹿児第二排水機場で耐震化工事を継続
	海岸	【海岸堤防の耐震対策】 ・潮江工区で耐震工事を継続 高須工区で耐震工事を実施
R2	河川	【河川堤防の耐震対策】 ・国分川、介良川、舟入川、下田川で耐震工事を継続 【排水機場の耐震・耐水化】 ・鹿児第二排水機場で耐震化工事を継続
	海岸	【海岸堤防耐震対策】 ・潮江、高須工区で耐震工事を継続

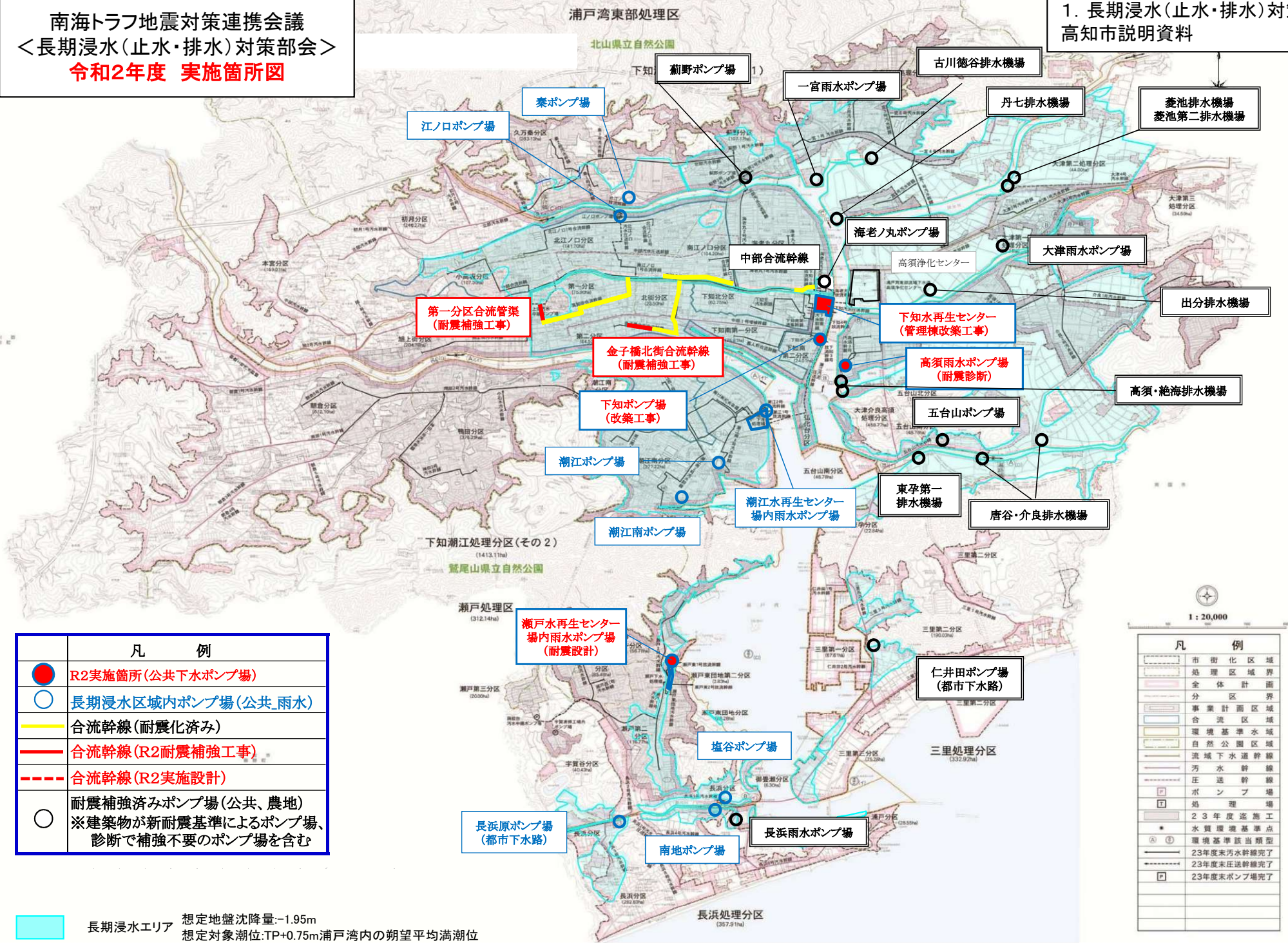
凡例

- H30迄に耐震対策済等 —
- R1整備箇所（H30補正含む） —
- R2整備箇所 —
- R3以降整備予定 - - -
- 河川事業 ○
- 直轄事業 —



直轄事業着工区間

南海トラフ地震対策連携会議
＜長期浸水(止水・排水)対策部会＞
令和2年度 実施箇所図



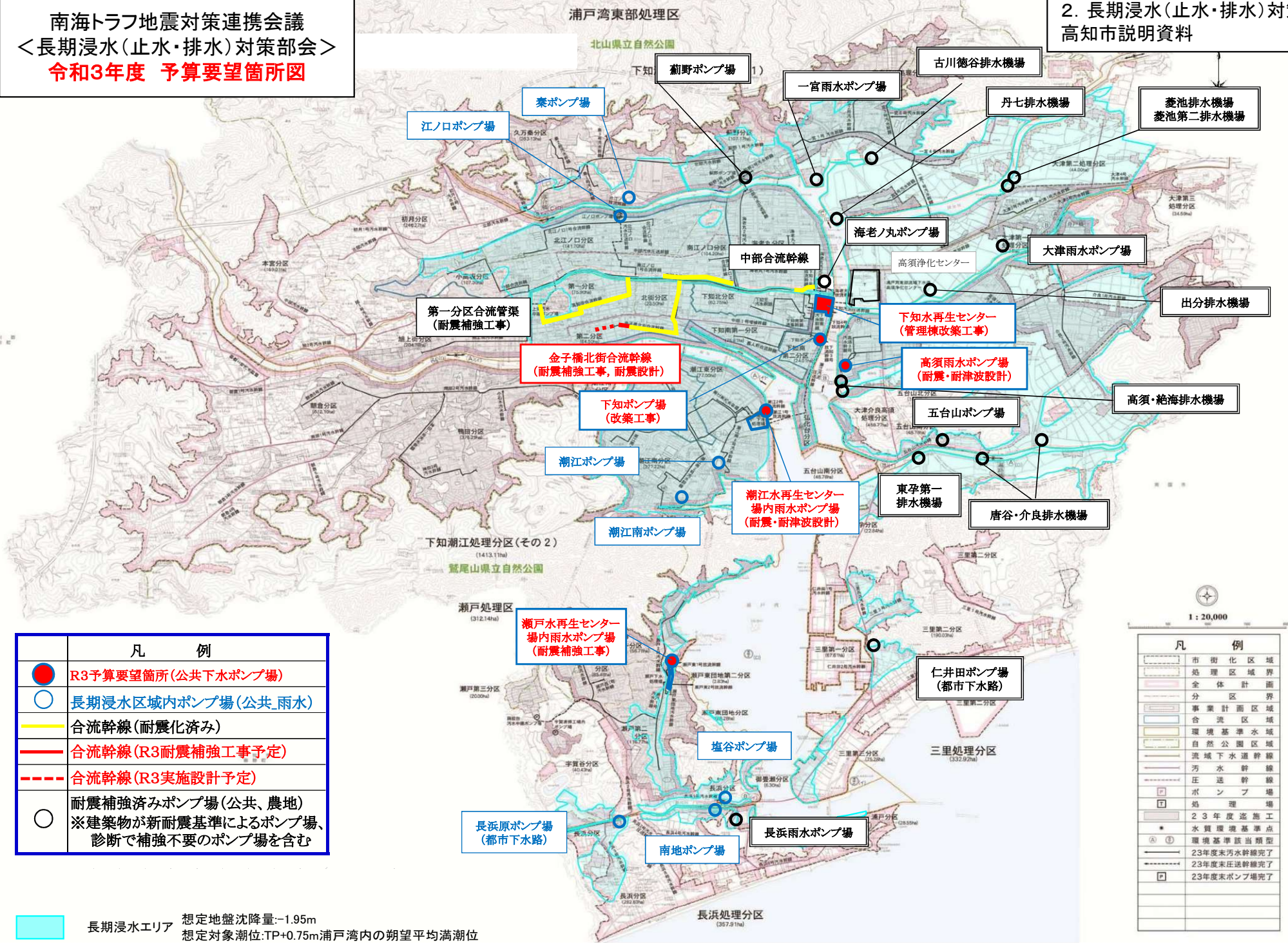
凡 例	
●	R2実施箇所(公共下水ポンプ場)
○	長期浸水区域内ポンプ場(公共_雨水)
—	合流幹線(耐震化済み)
—	合流幹線(R2耐震補強工事)
- - -	合流幹線(R2実施設計)
○	耐震補強済みポンプ場(公共、農地) ※建築物が新耐震基準によるポンプ場、 診断で補強不要のポンプ場を含む

凡 例	
 	市街化区域
 	処理区域界
 	全体計画
 	分 区 界
 	事業計画区域
 	合流区域
 	環境基準水域
 	自然公園区域
 	流域下水道幹線
 	汚水幹線
 	圧送幹線
 	ポンプ場
 	処理場
 	23年度迄施工 水質環境基準点
 	環境基準該当類型
 	23年度末汚水幹線完了
 	23年度末圧送幹線完了
 	23年度末ポンプ場完了

長期浸水エリア 想定地盤沈降量:-1.95m
想定対象潮位:TP+0.75m(浦戸湾内の期望平均満潮位)

1 : 20,000

南海トラフ地震対策連携会議
＜長期浸水(止水・排水)対策部会＞
令和3年度 予算要望箇所図



凡 例	
●	R3予算要望箇所(公共下水ポンプ場)
○	長期浸水区域内ポンプ場(公共_雨水)
—	合流幹線(耐震化済み)
—	合流幹線(R3耐震補強工事予定)
- - -	合流幹線(R3実施設計予定)
○	耐震補強済みポンプ場(公共、農地) ※建築物が新耐震基準によるポンプ場、 診断で補強不要のポンプ場を含む

凡 例	
 	市街化区域
 	処理区域界
 	全体計画
 	分 区 界
 	事業計画区域
 	合流区域
 	環境基準水域
 	自然公園区域
 	流域下水道幹線
 	汚水幹線
 	圧送幹線
 	ポンプ場
 	処理場
 	23年度迄施工
 	水質環境基準点
 	環境基準該当類型
 	23年度末汚水幹線完了
 	23年度末圧送幹線完了
 	23年度末ポンプ場完了

長期浸水エリア 想定地盤沈降量:-1.95m
想定対象潮位:TP+0.75m(浦戸湾内の期望平均満潮位)